

SFCC

AIケーブル、官公庁に採用 建設現場へ実績115件

SFCCは6月30日、同社製「らくらくアルミケーブル」が官公庁案件に初めて採用されたと発表しました。アルミ導体ケーブルが、官公庁の調達で従来の銅導体と同等の品質であると判断された。

端末施工講習会でのケーブル延線体験



同ケーブルシステムの建設現場などへの採用実績は115件となり、今後は同ケーブルの売上高を24年度までに20億円に拡大する予定。

同ケーブルは、官公庁設備への電源供給用に採用された。曲がりの多いルートでも、延線作業は予定時間の3分の2で終了し、作業効率の向上に貢献した。施工を行った栗駒電気工事からは「らくらくアルミケーブル」は、軽いだけでなく柔ら

かいので取り回しやすく、延線だけでなく盤への挿入も楽だった」と高評価を得た。今回の端末処理では、古河電工と古河電工産業電線が3月に開始した「らくらくアルミケーブル」端末施工講習会の受講経験が活用され、スムーズに終了した。

同ケーブルシステムは、専用圧縮・圧着端子、端子台、端末処理の専用工具を揃え、ケーブルからつなぎこみまでを一貫して行える。国土交通省は、働き方改革の実現に向け、直轄工事で週休二日工事を強力に推進するために、20

年度に原則すべての発注公告を週休二日工事とし、24年度には週休二日工事の実施率を原則100%まで引き上げる目標を掲げている。

